

補助金申請を成功に導く

製造業 × 国際 × IT × 法務のワンストップ支援

行政書士 上野徹事務所

- 特定行政書士／申請取次行政書士
- ファイナンシャルプランナー2級技能士
- 元 外資系マネージャー／情報システム責任者

URL: <https://uenotorulaw.com>

TEL: 070-5813-9676

Email: tony39u@gmail.com

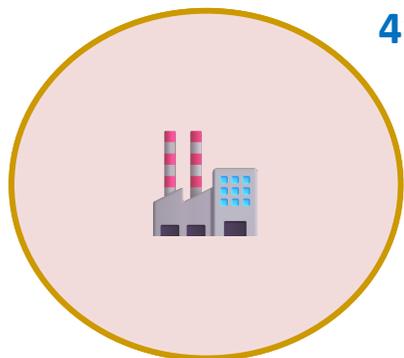


補助金申請の“現実”と失敗リスク

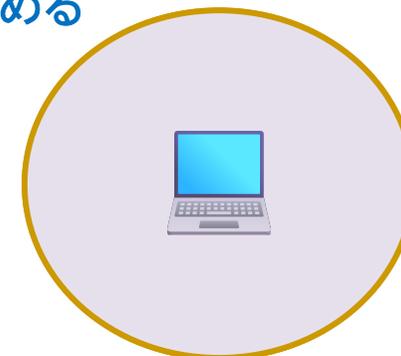
- 補助金の採択率は制度により 20～40%台
 - 製造業は「工程理解」「設備投資の妥当性」が審査の核心
 - DX枠は「IT理解」「効果の数値化」が必須
 - 海外展開枠は「規制・契約・証憑」の専門知識が必要
 - 法務リスク(契約・見積・証憑)が原因で不採択になる例も多い
- 👉 “書類作成”ではなく、“技術・DX・海外・法務の総合力”が求められる

なぜ上野徹事務所なのか

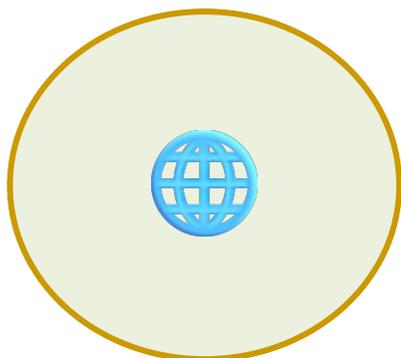
4つの専門性の掛け算が、補助金申請の成功率を高める



製造業: 工程改善・設備投資の実務経験



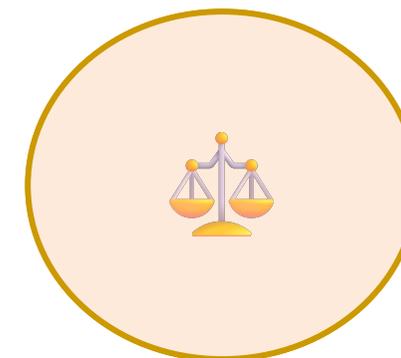
IT・DX: 元システム責任者



国際業務: 海外展開・規制対応



成功への道



法務: 契約・見積・証憑の実務経験

他の行政書士との比較

項目	一般的な行政書士	上野徹事務所
製造業の工程理解	△	◎(工程図で説明可能)
DX・IT理解	△	◎(元システム責任者)
国際業務	△	◎(海外展開の実務経験)
法務	○	◎(契約・規制に強い)
ワンストップ対応	△	◎(技術・DX・海外・法務を統合)

補助金申請の全体フロー(工程図)

- ① 事業ヒアリング →  製造業  国際  DX  法務
- ② 要件確認 →  製造業  国際  DX  法務
- ③ 事業計画作成 →  製造業  国際  DX  法務
- ④ 申請書作成 →  製造業  国際  DX
- ⑤ 電子申請 →  DX
- ⑥ 採択後フォロー →  製造業  国際  DX  法務
- ⑦ 実績報告・入金 →  製造業  国際  DX  法務

① 事業ヒアリング（技術 × DX × 海外 × 法務の総合診断）

製造業

- 工程・設備投資の妥当性を技術的に確認
- 生産性向上ポイントを抽出

DX

- システム導入の適合性
- データ活用の可能性を整理

国際

- 海外展開の障壁・規制リスクを洗い出し

法務

- 契約・見積・証憑のリスクを事前にチェック

 “ヒアリング＝診断”として価値を最大化

②要件確認(審査項目 × 技術 × DX × 海外 × 法務の照合)

- 公募要領を“審査項目ベース”で精査
- 製造業特有の要件(設備投資・工程改善)を整理
- DX枠・国際枠の適合性を専門的に判断
- 情報システム費用区分を正確に分類
- 法務リスク(契約・証憑)を要件に照らして確認

③ 事業計画作成(工程図・数値化・市場分析・法務の統合)

製造業

- 工程改善の図解(Before→After)
- 生産性向上の根拠を明確化

DX

- 効果をKPIで数値化
- システム構成図を作成

国際

- 海外市場のデータ分析
- 輸出規制・商習慣の整理

法務

- 契約・見積・証憑の整合性を確保

 “計画書＝技術 × DX × 海外 × 法務の統合ドキュメント

④ 申請書作成(審査員が理解できる“翻訳”作業)

- 審査項目に沿ったロジック構成
- 技術内容を工程図で“非技術者にも伝わる形”に翻訳
- DX効果を数値化し、審査項目に紐づけ
- 海外展開の専門性(規制・市場)を反映
- 曖昧表現を排除し、根拠を明確化

👉 “書く”ではなく“審査員に伝わる形に翻訳する

⑤ 電子申請 (IT専門家としての強みを最大化)

- GビズID・jGrantsの操作支援
- 書類の電子化・データ管理
- システムエラーの原因分析と対処
- データ形式・ファイル名ルールの統一

 “ITに強い行政書士”の価値が最も出る工程

⑥ 採択後フォロー（法務 × DX × 国際 × 製造の総合管理）

- 交付申請書の作成
- 契約書・見積書の法務チェック
- 設備導入スケジュールの管理
- 海外取引の契約・規制確認
- DX導入の進捗管理

👉 “採択後の失敗リスク”を防ぐ専門家としての価値

⑦ 実績報告・入金(証憑 × 法務 × DX × 国際の最終チェック)

- 設備導入の証憑整理(写真・契約・検収)
- 海外取引の証明書類の整備
- システム導入の検収書の確認
- 法務的に問題のない書類構成
- 入金までのスケジュール管理

👉 “最後まで責任を持つ”

Before → After (改善例)

- 技術説明が曖昧
- DX効果が数値化されていない
- 海外市場分析が弱い
- 証憑・契約が不備



- 工程図で技術内容を明確化
- DX効果をKPIで数値化
- 海外市場をデータで分析
- 契約・見積・証憑を法務的に整理

スケジュール

週1～2: ①事業ヒアリング

週2～3: ②要件確認

週3～6: ③事業計画作成

週6～8: ④申請書作成

週8～9: ⑤電子申請

採択後: ⑥交付申請・⑦実績報告

契約フロー

① 無料相談

- 課題整理・適合性判断

② 見積り・範囲明確化

- 追加費用なしの明確提示

③ 契約・着手

- 電子契約・資料リスト提示

④ 申請～採択後フォロー

- 計画作成～実績報告まで一気通貫

まとめ

製造業 × 国際 × IT × 法務

この4領域を実務で経験した行政書士だからこそ、

補助金申請を一気通貫で支援できます

行政書士 上野徹事務所